



横浜市立釜利谷東小学校

1月号

学校便り

TEL 045-783-9398 FAX 045-701-9817 平成31年1月7日

ひがしの願い

ひとつの命

がんばる心

しんじあう仲間

子どもの心を豊かに育んでいきたい

校長 許斐 真也

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに元日を迎えられたこととお慶び申し上げます。旧年中は、本校の子どもたちのために多大なるご支援をいただき、心より感謝いたします。年始にあたり、皆様のますますのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

A I (人工知能) の進化によって産業用ロボットの登場、自動運転の自動車の開発、実用化など、生活はこの上なく便利になりつつありますが、それにより、従来人間が行ってきた仕事がどんどん減っている、という状況も進んでいます。様々なところで、便利さを追求するだけではなく今の状況をどうとらえたらよいのか多岐に渡る意見が述べられています。この状況を、もろ手を挙げて歓迎するのではなく、根本的な人間の存在意義まで考えた意見も多く目にします。

A I を搭載したロボットに人間の代わりとして能力を発揮することを期待するだけではなく、次のステップとして考えられていることは、人間のような「感情」をもたせることだと述べられていました。つまり、それだけ「感情の開発」は難しいということです。だから一層、私たち人間がこれからも最も大切にしなければならないことは「豊かな心」を育てていくことではないでしょうか。そして、「豊かな心」は特別なことを通してではなく、主に日常生活の中で育まれていくものだと思います。

やさしい言葉、励ましの言葉をかけられると気持ちが穏やかになります。おいしい食事を食べると、用意してくれた人に対して感謝の気持ちが生まれ、体だけではなく心も元気になると思います。ちょっとしたスキンシップにより、信頼や安心感をもつこともあります。理屈に照らし合わせるだけではなく、五感から得られる「感覚」が「心が感じる力」つまり「豊かな心」を育むのだと思います。豊富な体験活動を伴うことがあれば、心は一層豊かに育つことでしょう。子どもを育てるということは豊かな心を育てることであると言っても過言ではないと思います。

今年も職員一同、さらによりよい学校づくりをめざしていきたく考えています。学校と、家庭と地域が互いに支え合いながら歩んでいくことができますよう、これまでと同様、ご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

